

## 動線計画

- ① 幼児・児童・生徒、来客者・保護者などが建物の配置を理解しやすいように、明快な動線計画としています。
- ② 正門から登校する生徒たちは、敷地内歩道により、正面玄関昇降口に入るようにしています。
- ③ 通用門からの登校者や、寄宿舎からの生徒たちは、校舎外部の敷地内歩道から、管理棟昇降口へ行くようにしています。
- ④ 建物の各棟を貫くメイン廊下を設け、その軸を中心に、それぞれの教育ゾーンを配置しています。
- ⑤ 建物内廊下や外廊下は、可能な限り直進とし、交差部分は90°曲がりとしています。
- ⑥ 全ての階段は、右回りで統一しています。

## ゾーニング計画

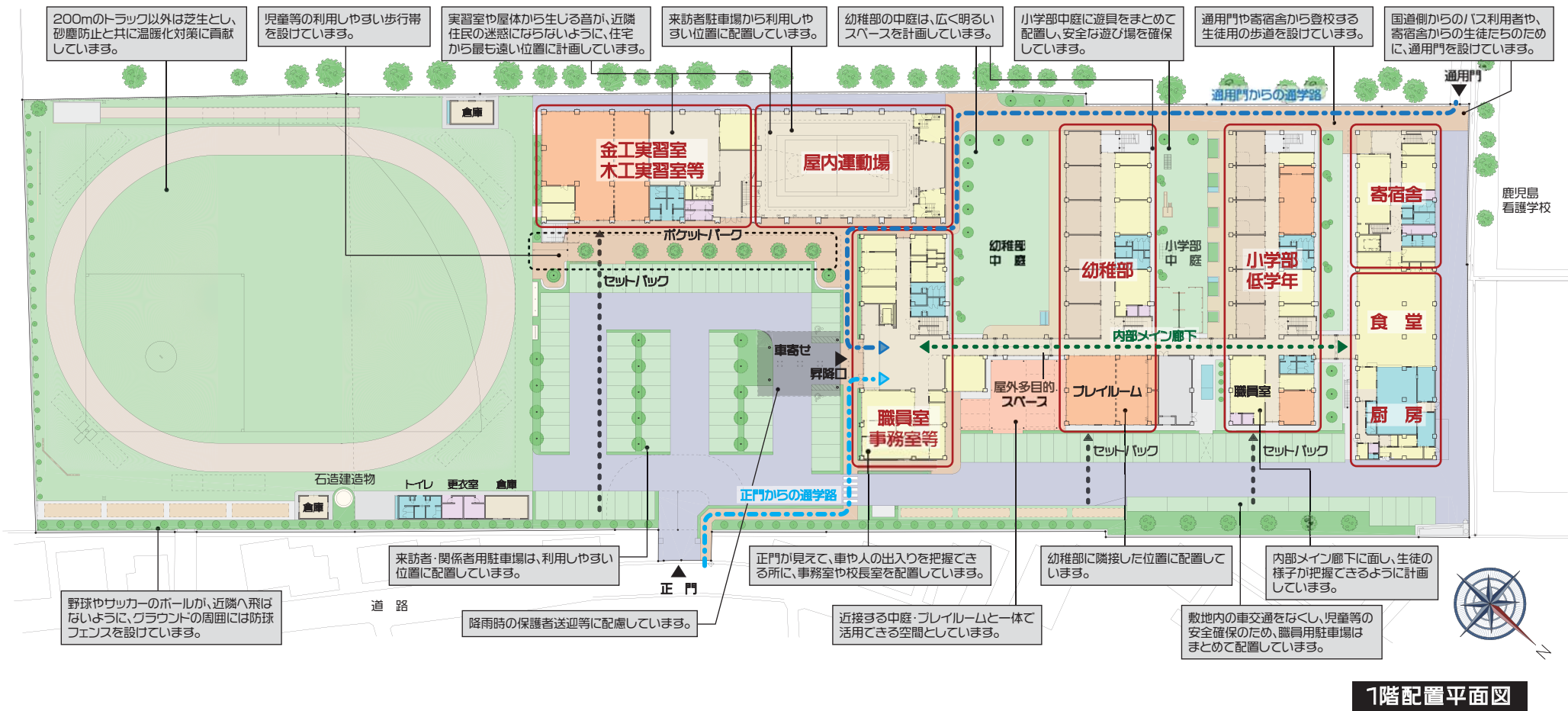
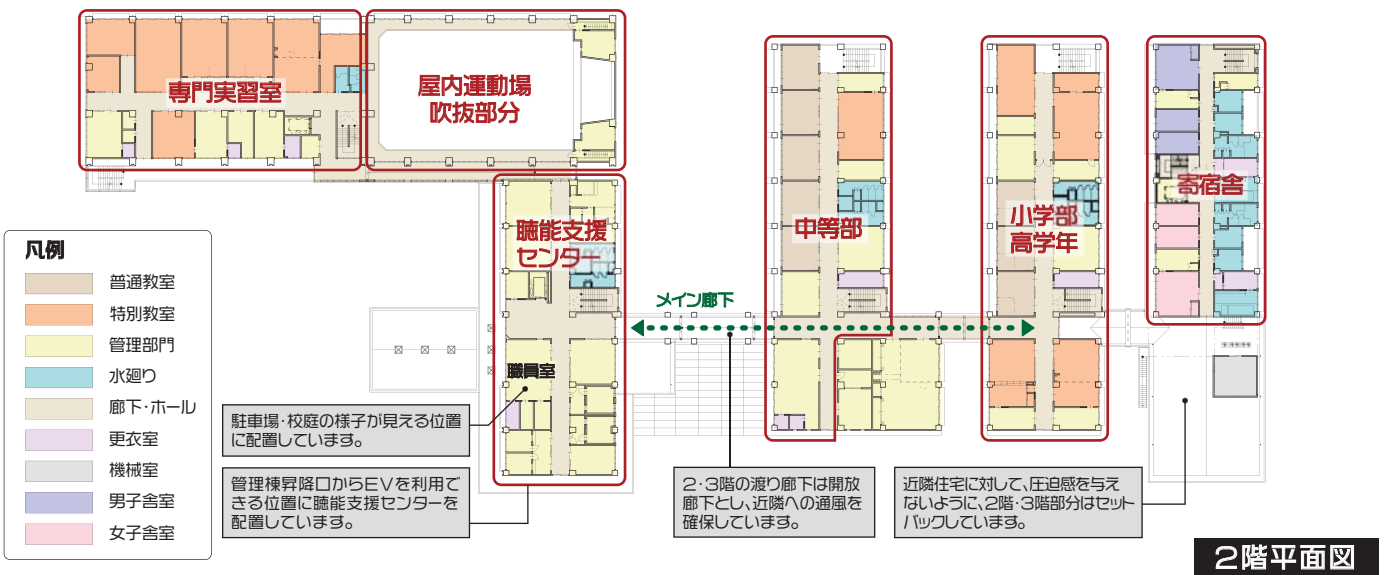
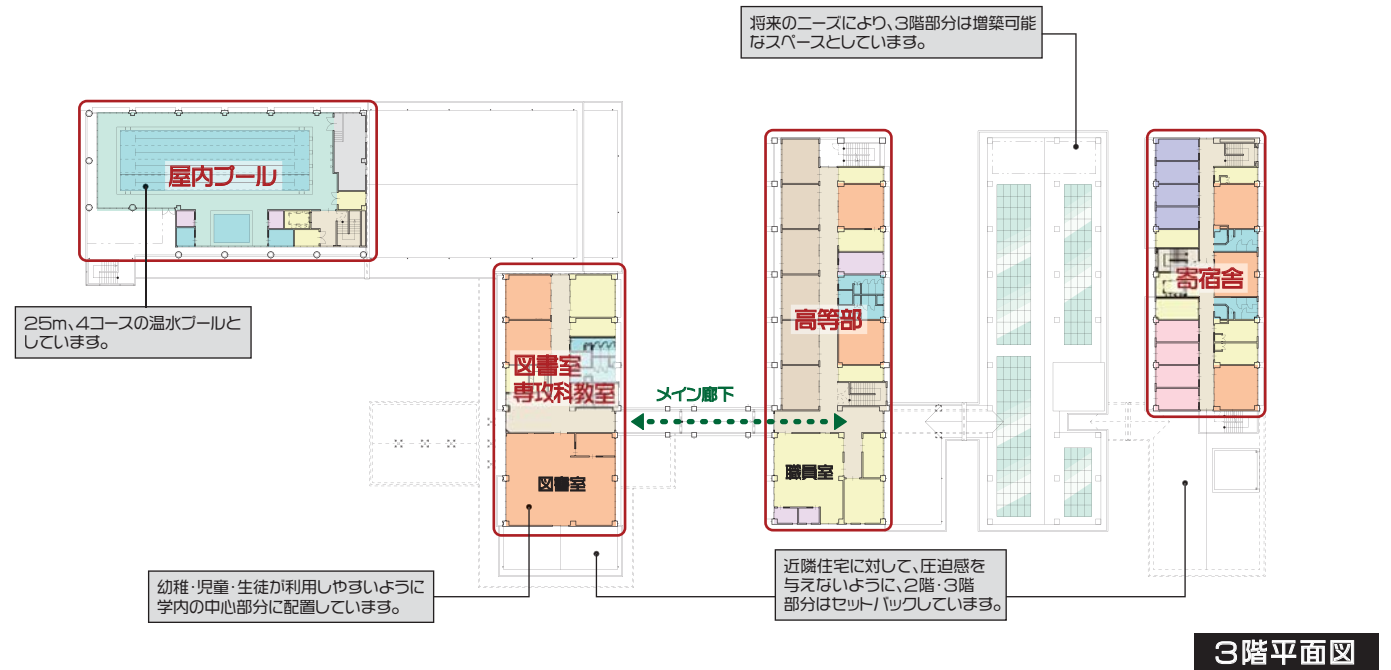
- ① 幼・小・中・高等部（重複教室含）・特別教室は、それぞれまとまったゾーンに配置しています。特に、幼稚部・小学部の低学年は、1階に配置しています。
- ② 管理棟の2階、正門側に聴能支援センターを計画し、来訪者がアクセスしやすい配置としています。

## 設備計画

- ① 聴覚障害の幼児・児童・生徒のために、FM補聴システムなど、相応しい補聴システムを導入することとしています。
- ② 始業・終業及び非常警報等は、信号灯付電子音報知器（シグナルタワー）を採用しています。

## 省エネ対策

- ① 屋根や壁の断熱、複層ガラスとするなど、建物内の負荷を低減することに努めています。
- ② 約170kWの太陽光発電設備を設置しています。



## 色彩計画

・淡く明るい白色系アイボリーを基調として、シンプルなお観としています。

